

「飛んでクルーズ北海道」今年も小樽から出港！ ～ 小樽港着岸の「にっぽん丸」にて出発式を開催 ～

小樽港を発着港として運航している定点クルーズの「飛んでクルーズ北海道」は今年で12年目を迎えました。

今年の第1便（Aコース）が出港する8月27日（日）に、小樽港クルーズ推進協議会および北海道クルーズ振興協議会の主催による「出発式」が小樽港第3埠頭に着岸している「にっぽん丸」船内で開催されました。

会場の6階ラウンジに乗船客のみなさんもお集まりの中、小樽港クルーズ推進協議会の会長である森井小樽市長の歓迎挨拶で幕を開け「クルーズを満喫した後はぜひ小樽の観光も楽しんで帰ってほしい」とのお言葉がありました。

引き続き北海道クルーズ振興協議会代表世話人である大立北海道運輸局次長からの歓迎挨拶、ミスおたるによる船長への花束贈呈、大立北海道運輸局次長、中野小樽市産業港湾部長から機関長、ゼネラルマネージャーへの記念品贈呈が行われ、最後に久保船長からの挨拶と森井小樽市長への返礼品贈呈で幕を閉じました。

出港時間が近づくと「にっぽん丸」の見送りに多くの市民のみなさんが埠頭へかけつけてくれました。

小樽観光協会推奨ご当地キャラクター「運がっば」もかけつけてくれ、乗船客に向かってしきりに手を振り、愛嬌をふりまいていました。

出港時刻の18時30分、潮太鼓の勇壮な音色が響き渡る中、乗船客のみなさんから次々と色とりどりの紙テープが投げられ、一気に船出の雰囲気盛り上がりしました。

刻々と岸壁を離れていく「にっぽん丸」。乗客のみなさんも見送りのみなさんも、お互いが見えなくなるまでいつまでも手を振り合っていました。

今年の「飛んでクルーズ北海道」はこの日の第1便を皮切りに小樽～利尻島もしくは礼文島～羅臼～小樽のA～Dコースの4コースが運航されますが、大変な人気ですべて満席となっており、全国46都道府県（残念ながら鳥取県の方はいらっしやらなかったようです）から乗船されるとのことです。

乗船客のみなさんは「にっぽん丸」だから楽しむことのできる、「北海道の大自然」や「地元の食材」を存分に体感していただければと思います。



船長より「いってまいります」の力強いお言葉がありました



勇壮な「潮太鼓」に送られての出港



「ミスおたる」と「運がっば」もお見送り